



Technical Data Sheet (TDS)

(EPOXY PUTTY STICK GALAPAGOS)

KANパテ

エポキシパテ・スティック

ガラパゴス

&ガラパゴスW

○製品の特長

- ◇ “指で押さえて止水できる状態／圧力、の漏洩であれば、漏水中での補修が可能！
- ◇ 純正国産品のエポキシパテ・スティックで、必要な分だけ切り取って、指先で揉むだけの簡単混合
- ◇ 国内製造で製造しているスティック状に成形したエポキシパテ “ガラパゴス” は、軟らかく、接着も良好！
- ◇ 特別な技術や火気も必要とせず、漏れの原因となる金属の補修が簡単にできる！
- ◇ 金属全般、コンクリート、タイル、石こうボード、石材、木材に接着
- ◇ 粘土状なので、肉盛り作業や穴埋め作業、造形作業が容易
- ◇ 電気の不良導体なので、異種金属間の補修・接着をしても電蝕が起こらない！
- ◇ 使用温度範囲：-40℃～120℃

○主な用途

- ◇ 漏水中のタンク、配管等の止水用途
- ◇ 配管、バルブ、タンクなどの修理に最適
- ◇ コンクリートの欠けの修正、鋳物の穴埋め、陶器や石材の肉盛補修等
- ◇ 石こうボードの損傷補修やネジ穴の造形、木部の損傷の修復

○性状・特性一覧

項目		主剤	硬化剤	備考
配合比率	容積比(vol.)	-	-	必要な量だけ切って、指先で揉む！
	重量比(wt.)	-	-	
色調	外観	薄灰色	淡灰～白色	
粘度	mPa・s	粘土状		
可使時間	分	3～5		30gスケール、25℃
硬化開始時間	分	7～10		30gスケール、25℃
硬化時間	時間	1		5mm厚み、25℃
比重	硬化物	1.8		JIS K 6911準拠
硬さ	ショアーD	88		
引張強さ	MPa	16～21		JIS K 6911準拠
曲げ強さ	MPa	26～35		JIS K 6911準拠
圧縮強さ	MPa	89～99		JIS K 6911準拠
引張剪断接着強さ	MPa	6～8		JIS K 6850準拠
使用温度範囲	℃	-40～120		
絶縁破壊強さ	kV/mm	1.2		JIS K 6911準拠

※上記のデータは、参考値として記載したものであり、保証値ではありません。

※色調は予告なく変更することがあります。

○製品仕様

ガラパゴス

- ◇ 60g／本（12本入／箱）



ガラパゴスW

- ◇ 60g×2／本（12本入／箱）



○危険物情報

法規制	主剤	硬化剤
消防法	指定可燃物 可燃性固体類	指定可燃物 可燃性固体類
毒劇物	該当せず	該当せず

○標準作業法

工程1 下地処理(とても重要！) ☆取れる物は除去すること！☆

①ケレン ☆下地処理後の表面は、金属面が露出し、ガサガサに粗すのが最高の仕上がりです！☆

使用する工具 ⇒ サンドブラスト、ベビーサンダー、ワイヤーカップ、ワイヤーブラシ、サンドペーパー等

一種又は二種ケレンが望ましいですが、現場の状況により異なります。

補修作業全体にかかる仕事量の9割をケレン工程に注ぎ込むぐらい重要な工程です！

ケレンの度合い ⇒ ガサガサの粗い面とは、#40サンドペーパーで金属面に多数のキズを付けるイメージです。

②脱脂処理 ☆油分、水分を除去する☆

アセトン(塗料屋さんで売ってます)や洗浄スプレー等の油分を洗浄することに優れた有機溶剤を用いて、完全に脱脂をしましょう！

注意！ ⇒ 油分が残っていると、苦勞してケレンしても剥がれの原因になり易いので注意して下さい。

工程2 計量・混合(簡単！)

☆作業をする際は、必ず薄手のゴム手袋を着用するよう心掛けて下さい☆

①計量

必要な量をカッター等で切ります。(推奨は、半分カット⇒広い面積になり、接着力が増します)

ガラパゴスに巻いてあるフィルムを剥がしてください。

注意！ ⇒ 残ったパテのカット面は、貼ってあった「丸シート」(空気との接触を遮断)を貼り付けて下さい。

②混合・攪拌 カットしたパテを「薄手のゴム手を嵌めた指で、色ムラが無くなるまで(2分程度)、手早く混合。

アドバイス！ ⇒ 漏れ補修を行う場合は、混合が終了しても、パテが発熱してくるまで指先で保持して下さい。

目安は、混合に2分、保持に2分で、計4分間くらい指先で保持して下さい。

工程3 貼り付け、充填 ☆漏れ補修の場合と造形・修復の場合では若干手順が異なります☆

①漏れ補修 パテが硬化発熱で温かくなってきたら、手早く丸めてボール状に形を作ります。ヘアークラックの場合は、厚めのリボン状。巻いてあったフィルムをパテに貼ってから押さえると、手を離す時に楽。

アドバイス！ ⇒ 「指の腹」や「手のひらの付け根あたりの膨らみ」を使って、パテを押し付け、完全に止水してください。

この時、押さえる力は緩めてはいけません。

②漏れ補修 パテで押さえ込んでいる時に漏水が完全に止まっていたら、止水できます。2分～4分程度が目安。

アドバイス！ ⇒ 手を離すまでは、押さえる力は緩めてはいけません。

この時点で漏水が止まっていない時は、圧力が高いので止水は困難です。

注意！ ⇒ 押さえ付けている手や指の際から「はみ出た」パテを爪等で時々押し、硬化状態を確認。

時間が経つと爪が食い込まなくなりますので、手を放しても大丈夫です。

アドバイス！ ⇒ 圧が高い場合は、今止水したパテを覆い隠すようにして、湿水リペアーを上塗りしてください。

①穴埋め、充填 混合が終了したら直ぐに穴埋め作業、充填作業を行って下さい。

注意！ ⇒ パテが硬化する前に形状を手早く整えます。

②穴埋め、充填 表面の仕上げはパーツクリーナーを吹き付け、優しく指先で撫でるとキレイな面になります。

工程4 硬化養生 ☆KANパテは、気温、接着面の温度、塗布厚みで大きく変わる！☆

⇒ 温度が高いと早く硬化し、低いと遅くなります。また、塗布厚みが厚い方が早く硬化し、薄いとき遅くなります。

⇒ 寒い時(15℃以下)は、投光器、温風ヒーター等で加温すると硬化速度を速めることができます！

⇒ 手のひらサイズ以下でKANパテを塗布して補修した場合に安全に硬化を促進させる方法をご紹介します！

☆使い捨てカイロを用いて硬化促進！☆

塗布後のKANパテの上にビニール(ポリ袋の切れ端でOK!)に包んだ使い捨てカイロをガムテープで固定して放置してください。…安全に硬化促進ができますよ！

○使用上の注意

1. 爆発性はありませんが、引火性がありますので使用の際、保管の際にも火気には十分に注意を払って下さい！
2. 取扱い作業所には、局所排気装置を設置して換気には注意をすること！
3. 目や粘膜を刺激することがありますので、必要に応じた保護具の着用をお願いします。例えば、安全メガネ、保護ゴーグル、顔面バイザーなど。
4. 皮膚接触を避けるために長袖上着、軍手、ゴム手袋などを装着します。手袋のような保護具でカバーされず、化学物質にさらされる身体部分(顔、前腕、脚部など)は、エポキシ樹脂製品を取り扱う作業を始める前に、保護クリームで保護します。
5. 眼に入った場合：患部の眼を下になるように頭を傾け、流水でしばらく(アイシャワーの場合10～15分間)洗う。必要に応じ眼科医の診察を受けて下さい。
6. 皮膚接触：樹脂が付着した衣類を脱ぎ、接触部位を流水で注意深く洗浄する。スキนครીナーを使うと効果的。患部を滅菌した材料(救急箱にある)で覆う。症状が重い場合は医師の診察を受けて下さい。
7. 吸入したとき：新鮮な空気の場所に移動させ、換気をし、医師の診断を速やかに受けて下さい。飲み込んだとき：大量の水を飲ませ、吐き出しを誘発する。その後医師の診察を受けて下さい。
8. 保管の際は、容器の蓋を密栓し外気と遮断してください。また子供の手の届かない冷暗所に静置して下さい。
9. 漏洩時は、換気を行いながらウエスで拭き取る(少量漏洩)か砂等を撒いてスコップ等で回収(大量漏洩)して下さい。
10. 廃棄の際は、正規の廃棄物処理業者に依頼をして下さい。
11. 火災時は、泡消火器や粉末消火器、二酸化炭素消火器を用いて消火活動をして下さい。